

2023年7月30日

「神へ導くために」

ペトロの手紙一 3:13-22

早川 真牧師

キリストがただ一度、十字架の上で苦しんでくださったのは、私たちの数えきれないほどの良心の呵責を覚えるような罪のためでありました。そしてそれは、私たちを神のもとへと導くためであったと語られています。キリストが私たちの罪の身代わりとなって苦しんでくださったことによって、私たちは、全ての罪を赦され、恐れなく神のもとへ近づくことができる者とされました。

世の中には様々な力が満ちています。善を行って苦しむことなどばかばかしい、同じ苦しむのだったら一か八か欲望のままに生きて、悪を行って苦しんだほうが良い、いや、むしろ、苦しむことすらないというような、偽りの声が満ちています。聖書は、そのような偽りの声の背後にはあらゆるサタンの権威や勢力があると述べています。聖書では、サタンはこの世の神であるときえ言われています。それは、神を認めない世界にあっては、サタンは神のように力を持っているということです。

しかし、それらすべての力に打ち勝つイエス・キリストがおられます。イエス・キリストは私たちがその力に打ち勝つことができるよう、聖霊を助け主として遣わしてくださいました。聖霊は信じる者の内に住み、洗礼の時に誓った神への誓いを果たすことができるように助けてくださいます。その誓いとは、生涯、キリストを頼みとし、キリストに従い、私たちが悪を行って苦しむのではなく、善を行って苦しむ者に変えられることを願い続ける、ということです。私たちも、人々を神に導くために、この私をも用いてくださいという祈りを、今朝新たに、ご一緒に主に捧げてまいりたいと思います。